

## 「千葉県外航クルーズ研究会」を開催しました

日時:平成27年8月20日(木)14:00~16:00

会場:ホテルプラザ菜の花(千葉市中央区)

主催:千葉港湾事務所、千葉県県土整備部港湾課

メンバー:千葉港振興協会、(公社)千葉県観光物産協会、千葉港運協会、木更津港運協会  
千葉市都市局、船橋市企画財政部、木更津市企画部、館山市経済観光部  
千葉県商工労働部観光企画課、関東地方整備局港湾空港部港湾計画課

現在千葉県では、まず20~30年後における千葉港の姿を見据えた長期構想を策定した後、そこへ至る間の10~15年度の姿を目標とした計画を次期港湾計画として検討していくこととしており、千葉県地方港湾審議会の中に新たに千葉港長期構想専門部会を設置したところです。

平成27年6月8日に開催された第1回目の専門部会の中では、訪日外国人旅行者数や外航クルーズ船により入国した外国人旅客数の堅調な増加を踏まえ、千葉港においても外航クルーズの寄港可能性について検討するべき、などの意見が出ていることなどから、本研究会を設置し、千葉港のみならず広く千葉県内の港湾への外航クルーズ船の寄港可能性等について整理・検討等を行う事を目的として開催したものです。

今回の研究会においては、(一財)みなと総合研究財団 首席研究員 田中 三郎様より「我が国のクルーズ産業の実態と発展」、(公社)千葉県観光物産協会 専務理事 飯田 重行様より「クルーズツアーの現状」にかかる講義を頂きました。

また木更津市からは地域特性を生かした取り組みと今後の課題についての報告があり、出席者より多くの質問や新たな研究テーマにかかる意見等も出され、非常に有意義な研究会となりました。

千葉港湾事務所としては、今回の成果・意見等を踏まえたうえで、引き続き本研究会を開催することとしています。



研究会全景



みなと総研 田中様による講義



千葉県観光物産協会  
飯田様による講義